

# 武道の教えを 競技に生かし、 正しく継承する

専門分野 武道教育学、剣道、教授学

担当科目 武道学習論特論など

## 神崎 浩 教授

### 略歴

1985年筑波大学大学院体育研究科修了。同年大阪大育大学着任。幼少時より剣道を始める。現在は、自分自身の技能向上をめざすとともに学生への指導も精力的に行っている。

### 業績・指導実績

全日本剣道連盟 社会体育指導員剣道講師  
全国剣道指導者研修会講師  
第14回世界剣道選手権大会 女子監督 優勝  
全日本学生剣道優勝大会 優勝(2回) 準優勝(5回) 三位(3回)  
全日本女子学生剣道優勝大会 準優勝(2回) 三位(3回)

長年剣道に携わっており、学内外・国内外でその普及・強化に力を注ぎながら、武道教育などの研究に取り組んでいます。江戸初期の剣客、宮本武蔵が著した『五輪書』には、集団の動かし方や、一対一で戦う際の駆け引きなどについて記されています。研究室では、このような古文書も参考にしながら、さまざまな競技の戦術を武道と比較して検討し、武道の汎用性について研究しています。

私自身が最近関心をもっているテーマは、海外における武道の普及のあり方についてです。昨今は、武道を学ぼうとする人が海外でも増えてきています。それ自体はもちろん悪いことではありませんが、たとえば試合に勝つことを最終目的としない武道が、そのように誤解された形で普及されるようなことは、避けなくてはなりません。日本の伝統文化でもある武道を、日本とは異なる文化や生活習慣をもつ人たちに正しく伝えるためには、どうすればいいのか。私は、優秀な指導者を育成することが、その解決策の一つだと考えます。

競技や対象を問わず、指導に携わる者には哲学が欠かせません。しかし、己の哲学を探究するには時間が必要です。指導者をめざす皆さんには、ぜひ大学院での毎日とその時間にしていきたいと思います。学部の卒業生はもちろん、社会人や外国人の方も歓迎します。

### キーワード

#### ■武道

武士道に由来する文化。剣道や柔道などを総称したもの。技術だけに偏らず、心技体を鍛える。

#### ■上達

選手の現状を見極めたうえで、技術や心構えなど、上達するために必要なポイントを考える。

#### ■指導法

運動学などを用いながら、どのような方法や手順を使えば目標を達成できるのかを考える。

#### ■比較文化

伝統文化を海外で正しく普及させたいと考える場合、普及先の国がもつ文化を知る必要がある。